



請願25第2号

生活保護基準の引き下げはしないことの意見書提出を~~国~~求める請願書

2013年2月8日

つくば市議会

議長 金子和雄 殿

つくば生活と健康を学ぶ会

事務所 つくば

請願団体

TEL

代表

代表者氏名

全日本年金者組合 つくば支部

紹介議員

滝口隆一

(請願理由)

国は、老齢加算を廃止し、毎月の生活保護費を約2割減らしました。その結果、「食事を1日2回にした」「知り合いの葬式にも出席できない」など、人間らしい暮らしができなくなっています。政府は、現在、生活保護基準切り下げを含めた政府予算案を閣議決定し国会へ提出しようとしています。これは3年間で生活扶助費を670億円減額する内容で、現在のデフレ不況のもと、低所得者には耐えがたいものです。生活保護基準の引き下げは、利用している人たちの「健康で文化的な最低限度の生活」(憲法第25条)を脅かし、最低賃金、年金、就学援助、各種税減免、など各種制度の切り下げにつながります。国民生活の最低保証基準の土台をなす生活保護制度を国が責任を持って保障すべきです。~~以上の理由から、次の要望が実現するよう、地方自治法第99条の規定により、国の関係機関へ意見書を提出していただくよう請願します。~~

(請願項目)

~~生活保護基準の引き下げはしないこと~~

以上の理由から、地方自治法第99条の規定により国の機関へ生活保護基準の引き下げはしないことの見解を提出していただくよう請願します。以上